



令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 学校名：山鹿市立菊鹿小学校 ＞

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>本年度も、コロナウイルス感染症のため、手洗いを頻繁にしたり、換気をしながら冷暖房をつけたりすることが多くなることが予想された。その中で、これまでの宣言を引き継ぎ、児童の身の回りに目を向け、身近なところから始めることとした。</p> <p>児童の宣言項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 省資源に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水はコップやバケツに入れて使い、むだ使いしません。 (2) アルミ缶集めを行い、リサイクルをします。 2 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 電気のスイッチをこまめに切ります。 3 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) そうじやボランティアを一生懸命にします。 (2) 花いっぱい、緑いっぱいの学校にします。 (3) 学年に応じて、環境学習を行います。 <p>職員の宣言項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 省資源・リサイクルに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 裏面利用や両面印刷し、紙の消費量を削減します。 (2) ごみの分別に努めます。 2 省エネルギーに努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 照明のスイッチをこまめに切り、消費電力を削減します。 3 環境保全に努めます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校地・校舎の美化に努めます。 (2) 各学年の栽培体験活動に積極的に取り組みます。 (3) 学校の環境への取組を家庭、地域に伝えます。
行動	 	<p>本年度は、SDGsの視点を取り入れ、学校の活動を「栽培活動に関すること」と、「資源保護の観点に関すること」で整理し直してみた。</p> <p>【栽培活動に関すること】</p> <p>各学年の年間活動にしたがって、花や野菜、米を育てている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学級園・学校園 <p>各学年の花壇があり、春と秋に購入した苗を植えて育てている。草取りや水かけなどをし、美しく保つための大変さを感じた。また、年々、花壇運営は天候に大きく左右されることを感じている。今年は、春に咲く花苗の出荷が遅く、花苗を2回に分けて植えることになった。また、以前は10月に行っていた花植えが、11月になってしまった。学校園は、環境委員会が担当し、こぼれ種から育った花や前年度に掘り起こしたチューリップ等を植えている。写真は、数年間手入れして育てているゼラニウムとチューリップである。</p>



2 一人一鉢の世話

1年生と2年生は、一人一鉢で野菜や花を育てている。

3 サツマイモの栽培



各学級に畑を割り振り、野菜を育てている。全学年5月にはサツマイモの苗を植えて、11月に収穫を行った。夏休み中には、動物に掘り起こされてしまうこともあった。(上の写真) そのため収穫量が減ってしまい、子どもたちは「宝探し」と言って探していた。野菜の栽培は、自然環境に左右されることに気づかされることにもなった。

4 野菜の栽培

2年生が生活科で、特別支援学級が自立活動の中で、野菜の栽培を行った。

特別支援学級では、6月にスイカとかぼちゃの苗を植えた。特にスイカの収穫を楽しみにしていた子どもたちだったが、収穫前に動物によって傷つけられた跡が見つかり、食べることをあきらめることになった。かぼちゃも同じ時期に実が大きくなってきたので、早めに収穫を行った。かぼちゃに飾りをして見てもらった後は、各家庭に持ち帰った。



5 米の栽培

毎年5年生が総合的な学習の中で、米を育てている。地域の方に教わりながら、温湯消毒とアイガモを使い、環境に配慮した稲作をしている。夏休みを含め7月から9月は、5年生の児童がアイガモの世話も分担して行っている。

6 茶摘みと茶もみ体験

3年生が、総合の時間に小学校内にある茶畑で茶摘みを行っている。地域の方から、お茶の摘み方や茶もみを教えてもらって取り組んでいる。茶もみでは、大きな釜で炒って、むしろの上でもむ体験をし、お茶づくりの大変さとおいしさを味わうことができた。



	 	<p>【環境保全に関すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アルミ缶の回収 環境委員会の児童で話し合い、毎週水曜日をアルミ缶ウエendezデーとして、前日にアルミ缶回収を行うことを呼びかけている。アルミ缶を1個でも持ってきてくれたらシールを1個貼り、3個たまったら、折り紙で折ったプレゼントを渡している。 2 節電・節水 環境委員会の児童で、電気の消し忘れや給食前の手洗いでの水の出し方等をチェックし、給食時の放送で報告し節電・節水を呼びかけた。 3 P T A活動での資源物回収 今年は小学校と中学校合同で、資源物回収を行った。菊鹿町全部の家庭に呼びかけて、保護者や児童生徒で集めたビールびん、一升びん（茶・緑）、アルミ缶、新聞紙、雑誌、段ボール等たくさんの資源物を回収することができた。なお、資源物回収の収益金は、P T A活動や学校行事等で子どもたちの活動のために活用している。 4 印刷用紙リサイクルの取組（職員室を中心に） 印刷する枚数により、コピー機か印刷機かを選ぶようにし、必要最小限の枚数を印刷するようにしている。ミスプリントの用紙は、サイズと種類別に分別して職員配布用として再利用し、紙の使用量を減らしている。また、職員会議等の提案文書はパソコンの画面上で行い、必要に応じて個人で印刷するようにしている。 5 使用しないマスクを布巾に 使用しないマスクを学校に寄贈していただき、それを5・6年生の児童が布巾に縫い直し、活用している。
記 録		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回のアルミ缶回収に向けて、前日には環境委員会の児童が呼びかけを行い、70kgを集めることができた。 ・年間を通して、花のある学校にすることができた。（年に2回、花壇の花の植え替えをした。卒業式用に購入した花の手入れを行い、一年中花を咲かせることができた。）
見 直 し	 	<ul style="list-style-type: none"> ・花植えの時期の気温が高く、花苗が販売されていなかったり、水かけなどの世話の大変さを考えたりして、花苗植えの時期をずらして行った。 ・学校園の花壇の草取りや水かけの大変さから、防草シートを利用したり、刈り取った草をあじさいの花の根元に置いたりした。また、こぼれ種や前年度に掘り起こしていた球根を植えたりした。 ・アルミ缶回収量が増えるように環境委員会で話し合い、スタンプラリーを行った。特に低学年の児童はシールやスタンプを押してもらうことがうれしいようで、はりきって持って来てくれた。集まることは、環境委員会の児童もうれしいようで、楽しく活動し、アルミ缶の回収量を増やすことができた。 

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○SDGsの視点で、学校の教育活動を見直すことができた。また、地域の方々にも教わりながら、いろいろな体験活動ができている。新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらくやっていたいなかったしいたけ駒打ちなども復活させることができた。</p> <p>○サツマイモや野菜、スイカの収穫が減ってしまったり、花植えの時期が遅くなったりしたが、その年の気象状況に大きく左右され、自然環境との関連を考えることができた。自然を大切にすることの大切さや、食物に対するいろいろな人々の苦労や工夫など、子どもたちが得るものも大きいと感じる。</p> <p>○児童数の減少や教育課程の見直しなどで、草取りや清掃活動に当てる時間が減少していることを考えると、防草シートの活用などの工夫の必要性がわかった。</p> <p>○節電や節水の意識を高めるために、環境委員会の発表で環境に関するクイズを行うことができた。クイズとその解説をすることで、環境に対する意識を高めることができた。</p> <p>○職員会議の議案を紙面ではなくパソコンの画面上で行ったり、裏紙を利用したりすることで、紙の消費を減らしている。</p>	<p>・本年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、換気をしながら冷暖房をつけたり、手洗いを頻繁に行ったりする必要があり、目に見える節電・節水にはなっていない。また、今年も地域のボランティア活動や行事参加等、感染拡大の影響でできなかった体験活動もあった。今後、感染症がおさまったときに、児童が地域の人たちとともに活動できるようにしていく必要がある。</p> <p>・環境委員会の呼びかけなどで、節電や節水に取り組もうとする気持ちは以前より見られるようになるが、電気の消し忘れや水の量が多すぎる手洗いなどが見られる。今後も環境委員会の呼びかけやチェックを続けながら、児童が主体的に行動できるための手立てを考えていく必要がある。</p>